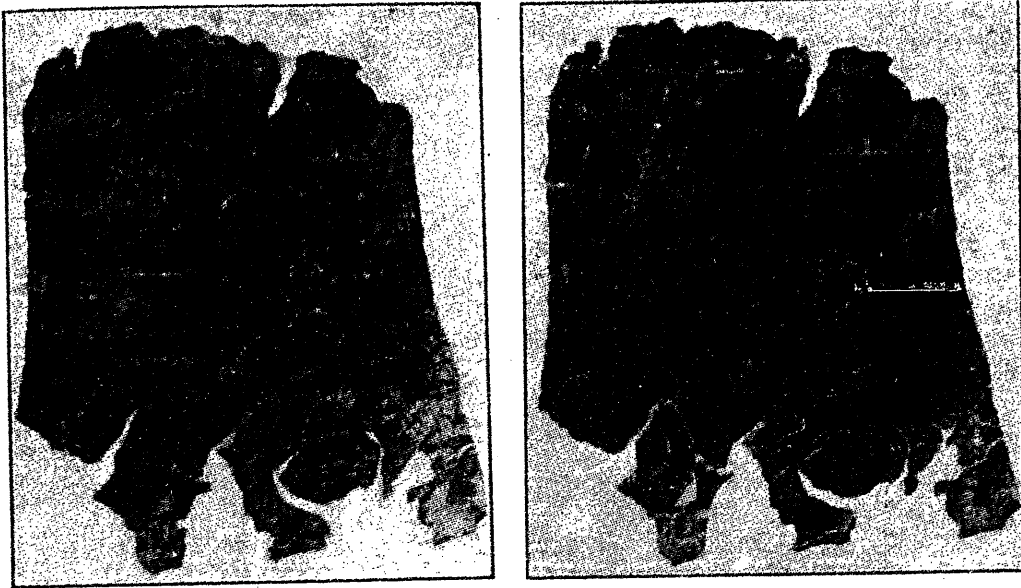


Title	赤外線による古文書鑑定の成功
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1933
Jtitle	史学 Vol.12, No.3 (1933. 8) ,p.34(412)- 34(412)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19330800-0034

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



赤外線による古文書鑑定の成功

本誌第十一卷第二號の餘白をかりて、赤外線と紫外線寫眞に關し略記する所があつたが、その後右の研究は目覺しい進歩を遂げつゝある。

赤外線(前回赤内線とせるを改む)による遠距離寫眞は爾來大に進歩し、殆んど毎回「ロンドン・タイムス」週刊の挿畫を飾り昨今盛んに地理的研究の上に應用せられつゝあつて、エヴェレスト山峰探検寫眞の如き特に見事なものが(特に五月十一日號)得られ、周知の如く今は我國の新聞紙上にも轉載せられる様になつた。

紫外線による古文書の鑑定は義塾國史學科の學生高山定雄君により目下着々研究が進められつゝあるので、その結果も近く發表せられるであらうが、今回は紫外線ではなく、赤外線によつてもその成功を見るに至つたのである。五月二十五日附「タイムス」週刊によるに、

大英博物館は赤外線乾板の使用により寫眞術に開かれたる新發明を應用して不明瞭なる古文書正文の解讀に資せんとする新研究を進めつゝある。最初の試みはパピルスに對してなされ、パピルスに記されたる非常に剝落褪色せるギリシヤ語正文の數枚を撮影して大に前途の光明を認め、五月に入りて、同博物館寫眞師は皮革の上に記されてゐて、是迄全く讀むことの出来なかつた古代エジプト語の正文についての實驗により全く新方面が開拓された。この皮革は縮れ膨らみ黒い塊をなしてゐたもので、その上に文字のあることは明かであるが、それが餘りに散布し朦朧としてゐて判讀し難いものであつた。處が、この新寫眞術によつて、最初書かれたときと同じ位明瞭に文字が現されるに至つた。

この結果、同博物館當事者は大體同形の皮革の上に記された該特殊文書全部を右の寫眞にとらせ目下研究中の由であるが、それが死者の書と同じ部類に屬する宗教文書であつて、前第二千年紀頃のものであるといふことが明となつた。かくして前回の豫報が裏書せられるに至つたことは私の欣快とする所である。上の左圖は赤色フィルターを用ひて汎色乾板に撮影せるもの、右圖は赤外線フィルターと乾板を用ひて寫出したものである。(間崎万里)